JHFレポート７・８月号　平成12年２月14日第三種郵便物認可　平成14年６月20日発行　年６回偶数月の20日発行 No.172

JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

JHFレポート

7・8月号
2002年

（社）日本ハンググライディング連盟 発行　http://jhf.skysports.or.jp/

HG日本選手権のテイクオフ地点、高ツムジ山から米沢盆地方向をのぞむ。

元気いっぱいの夏。

梅雨が去ったら、待望の夏空。
厚いフライトスーツを脱ぎ、
解放感でいっぱいになる。
ランディングしたら軽くひと泳ぎ、
それとも皆でバーベキュー？
夏のフライヤーは忙しい。
暑さに負けず、気持ちを引き締め、
元気いっぱいフライトを！

HG日本選手権参加者と役員。好条件で４本成立、競技も温泉も満喫した。

JHFレポート　7・8月号　Contents

P２　HG日本選手権報告　大門選手三連覇
P４　補正予算案ができました。
P５　サンタが空から降りてきた!
P６　安全講座　着水
P８　県連だより　〈広島県ハンググライディング連盟〉
P９　県連ニュース
P10　委員会の動き
P11　DHV視察調査報告ードイツに学ぶ。
P12　理事会ダイジェスト　理事活動報告
P13　@sky　空の楽しさ満載の情報ページ

2002年ハンググライディング日本選手権IN南陽

大門浩二、三連覇達成！

今年の「日本一のパイロット」を決めるハンググライディング日本選手権を4月28日から5月4日まで、山形県南陽市の南陽スカイパークエリアで開催。これまでにないほどの好コンディションのもと、繰り広げられた競技の様子を2001年ランキング5位の高橋元樹選手が報告する。

ゼッケン１の大門、サーマルめざし一直線。

「今年の十分一はなんかすごいことになってるぞ〜!!」という雰囲気の中で迎えた今年の日本選手権。それもそのはず、十分一（南陽スカイパーク）と言えば東北人のみならず、関東フライヤーにとっても非常に馴染み深いエリアだが、「赤湯ラーメン旨いし、山形ワインもおいしい。温泉もサイコー。飛びは……初飛びとかにいいよね、リッジで飛べるし〜♪」というのが、割と一般的な大会前のフライヤーの印象。

ところがどっこい、今年はちと違う。上がるは、上がるは、大会前々日・前日ともに対地2000m以上も上がり、あわててハンドフェアリングを用意する者も出たほど、連日の好条件。さー本戦が楽しみだー。

■初日（4/28）

開会式の後、ＪＨＦの朝日和博会長自らウインドダミー。

朝から積雲モクモク。今日もいいぞー、という感じだが、初日ということもあってタスクは短め。

高ツムジ山→飯豊道の駅→幸来橋→白鷹荒砥ゴール　44.6km

（高ツムジ山は南陽スカイパークの高い方のテイクオフポイント。十分一山に続く標高693mの山頂から飛ぶ。）

みんなの期待どおり、マックス2700mまで上がり、ゴール者が選手の半数を超えるスピードレースになった。

ファーストゴールは大門浩二選手。本日の順位、１位：アントンこと安東正夫（53分）、２位：平林和行（56分）、３位：大門（57分）。

この日のアントンさん、デパーチャーを切ってからは、幸来橋付近のサーマルで行きと帰りに二回上げただけ。貫禄のトップ。

■２日目（4/29）

初日と似たようなコンディション。15kmほど南の米沢高校パイロンを使う。高ツムジ山→幸来橋→湯沼温泉→米沢工業高校→メインランディング場ゴール　54.7km

ファーストゴールは平林選手。本日の順位、１位：鈴木博司（１時間26分）、２位：ジョン・デュラン・ジュニア（１時間32分）、３位：板垣直樹（１時間33分）。

この日は選手の判断が命運を分けた。集団で動いていたトップグループをひとり抜け出した鈴木選手。最終パイロンの帰り、彼は平地が渋いと見るや即座に山ルートに切り替え、一気に他の選手を引き離しそのままゴール。

この時点で総合１位大門、２位板垣、３位鈴木。

■３日目（4/30）

雨天のため競技キャンセル

■４日目（5/1）

前日の雨の影響であまりよくないコンディションが予想されタスクは短め。「米沢行って来い」の帰りにやや沖のパイロンを取るタスク。

高ツムジ山→米沢工業高校→千代田清掃局→メインランディング場ゴール　34.3km

ファーストゴールは大門選手、本日の順位、１位：大門（１時間30分）、２位：中神（１時間30分）、３位：板垣（１時間34分）。

この日、ゴールわずか４人。ゴールのチャンスは一瞬で、そのサーマルに乗った選手だけがゴールした。

これで優勝争いは大門、板垣の二人に絞られた。

■５日目（5/2）

ちゃんとした競技ができるのはこの日が最後という朝の予報。チャンスを伺う板垣。余裕の表情の大門。はたして……

タスクは昨日の反対周り、米沢行きがけに清掃局に寄る。

高ツムジ山→千代田清掃局→米沢工業高校→メインランディング場ゴール　34.5km

この日、ゲートオープンから間もなく予期せぬ出来事が起こった。２位の板垣選手が、ぶっ飛んでしまうのである。

その報をテイクオフで受ける大門。勝負は決まった。

ファーストゴールは太田昇吾選手。本日の順位、１位：ジョン（59分）、２位：安東（１時間４分）、３位：太田（１時間９分）。

この日確実にゴールを決めた大門、２位以下を一気に突き放し独走態勢。

また、オーストラリア若手No.１パイロッ

GPS（バックアップ）のデータをモニターで確認する。

４日目には大門と同タイム。健闘した中神克彦、テイクオフ。

ゴールで今日の飛びを振り返るジョンと高橋元樹。

トのジョンが来日初トップ。

■６日目(5/3)

曇りの予報にもかかわらず天気がよく、選手も役員もやる気満々。みな、あっという間に機体を組み、時を待つ。

しかし、朝からやや風があるのが気がかり。そろそろゲートオープンかというところで天気が急変。

ランディングで５～８m/secの風と連絡。強い風はあっという間に辺りを飲み込み、機体をばらすのも一苦労。

はあ、がっくしってえ感じの一日でした。

■７日目(5/4)

どんより曇った朝。降雨が予想されたため、競技キャンセル。

４日間良い競技が成立し、誰が一番かは誰の目にも明らか。点差もあったため、みな納得のキャンセル。

こうして2002年の日本選手権が幕を閉じた。優勝は大門浩二選手。これで足掛け４年、３連続日本チャンピオンである。毎回違う勝ち方で、見るほうも楽しませてくれる。今回は、余裕の優勝という感じで、機体の性能、フライトテクニック、勝利への執念が他の選手を圧倒的に凌駕していた。

さあ、来年はどんな勝ち方をしてくれるやら……なーんて言ってちゃいけませんネ。来年は、今回涙をのんだ板垣さんをはじめ、他のライバルたちが「打倒大門」で４連覇に立ちはだかることでしょう。

首洗って待っとけよ、大門さん。

優勝おめでとうございました!!

◆トップ10成績

１位	大門　浩二	茨城県	3570.1点
２位	板垣　直樹	茨城県	3191.1点
３位	平林　和行	千葉県	3074.7点
４位	中神　克彦	東京都	3064.3点
５位	Jon Durand Jr.	オーストラリア	2940.3点
６位	安東　正夫	東京都	2927.7点
７位	太田　昇吾	千葉県	2840.0点
８位	大沼　　浩	茨城県	2706.8点
９位	砂間　隆司	茨城県	2705.0点
10位	鈴木　博司	三重県	2684.4点

前列左から板垣、大門、平林。後列左から中神、ジョン、安東。

日本選手権者にインタビュー

三度目の日本一を勝ち取った大門浩二さんに、現在の心境とこれから行われる大会への意気込みを語ってもらいました。

◆今回の優勝への感想をお願いします。

◇三連覇ということもあって率直に嬉しいです。ただ優勝は意識してなく、とれるもんならとりたいと思ってました。十分一は、いいタイミングと悪いタイミングがはっきりするエリアなので、コンディションの判断を間違えないように気を付けていました。

◆日本にライバルはいますか?

◇たくさんいますが、スピードレースの強い板垣さん、気象判断の読みに優れている今嶋さん、今回の十分一みたいな、いいコンディションの短い時にポンポンこまを進める鈴木さん、この辺の顔ぶれが今回トップに来るんだろうとは思っていました。

◆どのように練習してますか?

◇僕は他のフライヤーと比べて飛行時間は多くないと思うんですよ。でも、飛び始めた頃からイメージトレーニングはしっかりやってました。一本のフライトを大切にし、飛んで降りた後も今のフライトの復習をする。飛ばない時間にイメトレをたくさんやったことが今、有効に生きてきたんだと思います。あとはグライダーを含めて自分の装備品を信頼すること。飛んでる時は、状況判断に集中したいから、最低限自分の装備品は信頼してないとダメ。今乗ってるグライダーは５年乗ってて、信頼でき、十分理解できます。

◆プレワールドに対する意気込みを。

◇前回のスペインでの世界選は納得いく結果が出せませんでした。前々回のイタリア開催の時の17位より上を目指します。まだ年齢的にもいけると思うんで、仕事、練習を含めた生活の調整をして、ブラジルでのプレワールドに臨みたいです。最後にこの場を借りて、日本選手権の大会役員、地元の方々にお礼を申し上げます。

大門　浩二
(ダイモンコウジ)

1965年、秋田県に生まれる。現在は茨城県在住。ハング・パラグライダーの輸入・販売業務に従事。

84年、ハンググライディングを始める。93年、世界選手権出場を目指し、会社勤めをやめ、ハング・パラスクールのインストラクターに。98年、世界選手権初出場。同年、トレーニングのため茨城県に移り住む。99年、日本選手権優勝。2000年、世界選手権で日本人最高の17位。01年、再び日本選手権者に。01年、世界選手権57位、プレヨーロッパ選手権6位、HGシリーズランキング1位。02年、日本選手権三連覇。この夏、プレワールドほかを転戦の予定。

補正予算案ができました。

2002年度ＪＨＦ補正予算案ができました。この予算案は、ＪＨＦ３月通常総会で承認された2002年度予算を、年度末までの収入・支出やフライヤー会員登録などの状況を踏まえて調整したもので、理事会が６月通常総会に上程します。

総会は６月14日、東京都の羽田空港ターミナルビル会議室で開催。このレポートがお手元に届く時には、総会決議が終了している予定です。総会の報告はＪＨＦホームページでご覧ください。また、詳細は各正会員（都道府県連盟）にお尋ねください。

2002年度６月補正予算案

収入の部

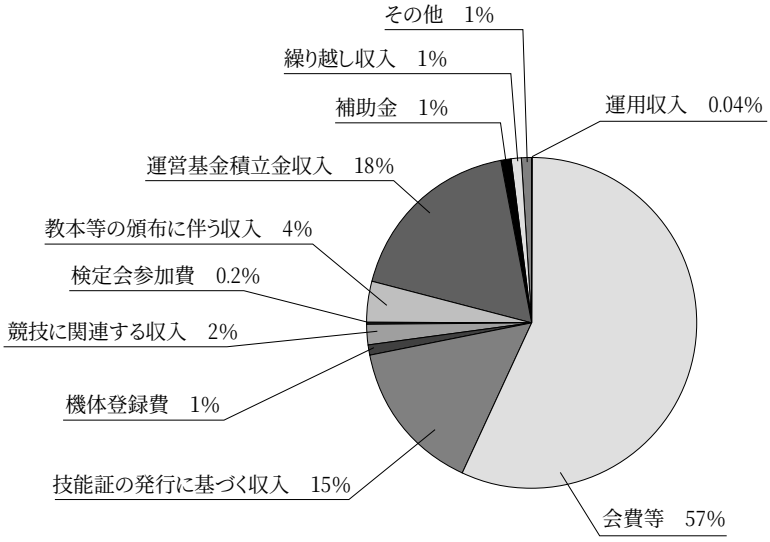
基本財産運用収入	\50,000
会費・入会収入	\77,425,000
技能証申請料収入	\19,887,000
機体登録費収入	\700,000
ＰＧ競技委員会	\1,500,000
ＨＧ競技委員会	\720,000
検定会参加費収入	\300,000
広報出版収入	\4,850,000
その他	\820,000
運営基金積立金	\24,367,000
補助金	\1,500,000
前記繰り越し	\1,258,334
計	\133,377,334

支出の部

事務局費	\22,324,080
技能証発行事業費	\5,500,000
保険料	\19,186,000
会員証発行	\7,000,000
都道府県連盟補助	\12,515,000
学連補助	\200,000
委員長会議	\500,000
総会開催	\1,000,000
ＰＧ競技委員会	\1,744,000
ＨＧ競技委員会	\1,350,500
補助動力委員会	\1,410,000
教習検定委員会	\2,490,000
制度委員会	\430,000
スクール情報登録	\70,000
宣伝広告費	\700,000
厚生活動補助事業費	\200,000
体験会	\400,000
学連育成費	\200,000
広報出版費	\1,798,000
ＪＨＦレポート	\15,216,000
教本増刷	\1,000,000
ホームページ運営	\736,000
白書	\1,000,000
海外局費	\950,000
安全性委員会	\1,910,000
法務委員会	\630,000
ＪＨＦ活性対策費	\3,000,000
予備費	\2,086,754
運営基金積立金	\21,181,000
世界選手権引き当て預金	\3,700,000
日本選手権	\2,950,000
計	\133,377,334

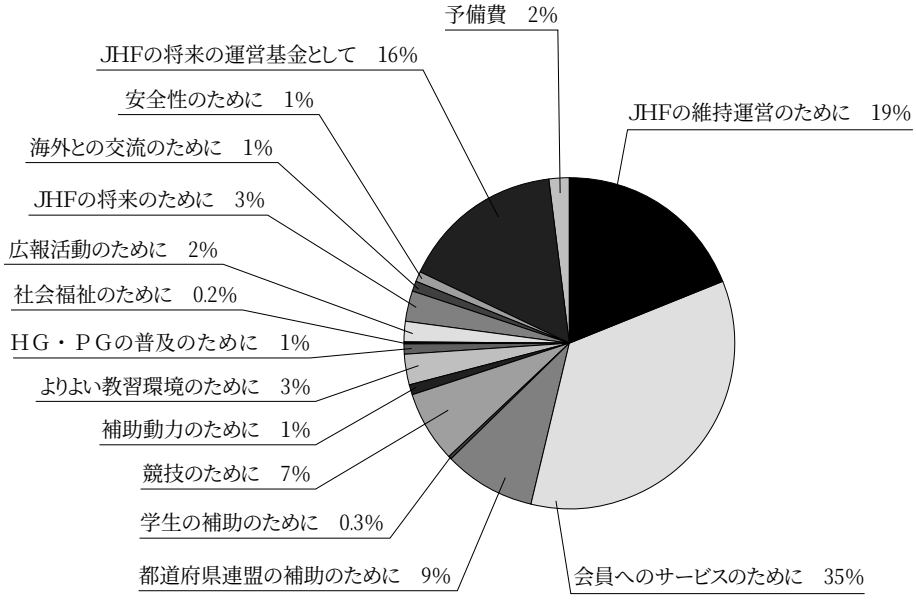
□運営基金積立金：フライヤー会員３年登録者の向こう２年分の保険等のためにプールしておかなければならない積立金。

収入の割合



運用収入	\50,000	教本等の頒布に伴う収入	\4,850,000
会費等	\77,425,000	運営基金積立金収入	\24,367,000
技能証の発行に基づく収入	\19,887,000	補助金	\1,500,000
機体登録費	\700,000	繰り越し収入	\1,258,334
競技に関連する収入	\2,220,000	その他	\820,000
検定会参加費	\300,000	計	\133,377,334

支出の割合



ＪＨＦの維持運営のために	\24,884,080	社会福祉のために	\200,000
会員へのサービスのために	\46,902,000	広報活動のために	\2,534,000
都道府県連盟の補助のために	\12,515,000	ＪＨＦの将来のために	\4,000,000
学生の補助のために	\400,000	海外との交流のために	\950,000
競技のために	\9,744,500	安全性のために	\1,910,000
補助動力のために	\1,410,000	ＪＨＦの将来の運営基金として	\21,181,000
よりよい教習環境のために	\3,490,000	予備費	\2,086,754
ＨＧ・ＰＧの普及のために	\1,170,000	計	\133,377,334

サンタが空から降りてきた！

フライヤーだけの世界に固まらず、
地域の人々との接点を持つ。
そこからスカイスポーツへの理解が生まれる。

厚生活動補助事業

2000年度からJHFの事業に「厚生活動補助事業」が含まれているのをご存知ですか。厚生活動というと難しそうに聞こえますが、簡単に言うと、フライヤーが行っている社会的活動を応援することです。

厚生とは「健康を維持または増進して、生活をゆたかにすること（広辞苑）」。ハンググライディング・パラグライディングを媒介に「ゆたかな」気持ちを地域社会の人々と分かち合う……そんな活動についての調査を都道府県連盟を通じて行い、報告された活動のなかから選んだものに、JHFが補助金を出し（事後ですが）応援しています。

2000年度の補助対象になったのは、秋田県赤十字モーターパラ飛行奉仕団『スカイハート』の港湾施設用地クリーンアップ作戦とサンタクロース乳児院訪問、福島県ハンググライディング連盟のエリア所在地域クリーンアップ、岡山県大佐ネイチャークラブのろうあ者のためのパラグライダー無料体験講習会、熊本県フライヤー連盟の知的障害者のためのイベント参加、以上、四つの活動。

2001年度も同様の調査を行い、静岡県のスカイ朝霧パラグライダースクール、岡山県のNCおおさパラグライダースクール、鹿児島県のチームウィンドラブによる活動が補助の対象に決まりました。

スカイスポーツの未来のために

そもそも、この補助事業はなぜ始まったのでしょうか。それは「スカイスポーツの発展と未来のために必要」だからです。スカイスポーツ人口は多くはありません。あなたの知り合いに「パラグライダーとかハンググライダーって知ってる？」と聞いても、首を横に振る人がほとんどでしょう。たとえ「知ってるよ」と答えたとしても、その知識はかなりトンチンカン。なかには「あんなの乗ったら空から落ちて死んじゃうじゃん」と言う人もいます。確かに、ハング・パラグライディングは危険ではないと、断言することはできません。自然を相手にする以上、それなりのリスクはあります。しかし、一般の人々の多くは、飛ぶことイコール危険だと思いこんでいるのです。

こんな思い込みが解消しない限り、スカイスポーツ人口の増加は期待できません。危険なイメージばかりが独り歩きする状況が続けば、あなたの子供や孫の世代には、もしかしたらこのスポーツがなくなっているかもしれません。

そんな最悪の状況を避けるためには、飛ばない人たち、特にフライトエリアの地元の人たちにスカイスポーツに対する理解を深めてもらうこと、飛ぶ人と飛ばない人が結びつくことが必要です。地域の清掃など気軽にできる活動に、あなたもぜひ参加してください。身近なところでそんな活動をしていなければ、あなた自身が仲間に働きかけてみてください。

日頃フライトを楽しんでいる空の下には、いろいろな人が生活を営んでいます。その人たちとの接点を持つことから、スカイスポーツに対する本当の理解が生まれるはずです。

■不登校の子供たちに夢を

昨年の10月７日、岡山県のNCおおさパラグライダースクールでは、岡山県内の不登校や様々な悩みを抱えて学校から足が遠のいている子供たちを応援するプログラムの一環として、パラグライダー体験教室を行った。

幸い好天に恵まれ、約40名の子供たちと保護者やボランティアスタッフを含めた総勢84名が集り、大佐山の麓にある講習バーンで初めてパラグライダーに触れ、初歩の滑空を体験、空への第一歩を記した。

この「とびだせ一人ぼっち！夢さがしの旅!!」プログラムは、岡山県教育委員会生涯学習課によるもので、アウトドアスポーツをはじめいろいろな体験を通じて、子供たちに夢づくり、元気づくりをしてもらうことを目的としている。学校への復帰も目的に含まれるが、あくまでも彼らの夢と元気づくりが第一だ。

体験者の小学５年の女子は「……いいことは、パラグライダーができたことです。パラグライダーで空をとんだとき、すごくきもちよかった。それに、先生にほめられたことです。……」と感想を書いた。「夢さがしの旅に参加するようになってから、好きなことには以前より時間を費やすようになったし、新しいことにも積極的に取り組むようになったと思います。」と書いた中学２年の女子もいる。

関口泰生校長からの活動報告は、こんな言葉で締めくくられている。

「このプログラム全体を通じ、参加した子供の77.7%が自らの意思で、新たな夢に向かって、目に見える一歩を踏み出したそうである。パラグライダーの体験が、その一助としてお役に立てたのであれば、本当にうれしい限りである。今後もこのような機会があれば、積極的にお手伝いしていきたいと考えている。」

■サンタが空を飛んで来る

静岡県のスカイ朝霧パラグライダースクールは、スカイスポーツをやっている自分たちが、特別な存在ではなく、地域の人たちにとって身近な存在になれるように、また子供たちに夢を与えたいと考え、長年に渡って保育園のクリスマス会を地域の人たちと共に盛り上げている。

クリスマス会の日には、サンタクロースに扮装したインストラクターたちが、猪之頭エリア・白糸エリアでフライト（できるだけ赤いキャノピー、ハーネスで）、ランディング場にやってきた猪の頭保育園・白糸保育園の園児たち、地域の小さい子供たちと一緒に遊び、プレゼントを配った。

サンタクロースの中には海外からのフライヤーもいて「本物みたい！」と子供たちは大喜び。おおはしゃぎする我が子の姿を撮影しようと父母も足を運び、クリスマス会は大成功となった。

空飛ぶサンタにお菓子をもらってニッコリ。

この地区では、サンタはトナカイではなく赤いパラグライダーに乗って飛んでくるものだと思われている。

サンタが飛んでくるのは、朝霧だけではない。

鹿児島県のチームウィンドラブは、日頃スカイスポーツに対して協力・理解してもらっている地域の人たちへの感謝の気持ちを込めて、「空から飛んできたサンタクロース」活動を毎年実施している。

昨年は12月23日に、チームのメンバーがサンタの扮装で飛び、町内外の子供たちにお菓子を配った。

クリスマス会に飛んできたサンタと園児たち。

安全講座

着水

水没する、流される、息ができない……
あなたは着水の恐怖を想像したことがあるだろうか。

着水実験から。キャノピーごと流される場合を想定。呼吸の確保も難しい。

もうだめかもしれない。あと数分、この状態が続くようなら僕は死ぬだろう。

水中に没し、そこから見える太陽はやけにきらきら輝いて見える。

最初は「やってしまった」程度にしか思わなかった。そこに至るまでに、考える余裕は十分にあったはずだった。もっと早い段階で違った判断をくだしていれば、回避方法はあったに違いない。状況は今よりは数段ましだったかもしれない。

浮かんでくるのは後悔の念ばかり。今なすべきは、できるかぎり呼吸を確保すること。もはや足にまとわりついたラインをほどくことは諦めた。もう状況の好転は望めないだろう。そしてもう一度思うのだ。

「着水だけは避けておくべきだった」と。

■着水は他人事ではない

海や湖、河川が隣接しているエリアならば、そこで飛ぶ人たちは着水を想定した対策を考えているでしょうし、危険性も十分理解しているでしょう。それでも着水による事故が発生し、尊い命が犠牲になっているのは、まぎれもない事実です。

年々グライダーの性能が向上し、私たちの空域は飛躍的に広がっています。エリア外ランディングとなれば、河川敷は格好のランディング場所。今や着水による事故は、水辺に隣接しているエリアだけの問題ではありません。

■呼吸を確保し自分と機体を離す

1999年、安全性委員会と教習検定委員会のメンバーによって、パラグライダーの着水による実験が行われました。

プールという限定された環境の中でしたが、飛行時の服装・装備で、様々な場面を想定して水に飛び込み、フライヤーがどんな状態になるのかを、実験したのです。

この実験で、いろいろなことが浮き彫りになりました。

低高度の落下で絶大な効果を発揮するプロテクター。年々大型化し、エアバッグ等のハーネスを装備しなければフライト不可というエリアもあるほど、身近なものになっています。みなさんも一度くらいはお世話になったことがあるでしょう。ちょっと想像力を働かせれば分かることですが、これらのプロテクターは浮力を持っています。もし着水前にバックル類を外しておかなければ、背面に位置する浮力のために体はう

浮き上がった時にはラインがからんでいた。現実には、この上にキャノピーがかぶさってくるかもしれない。

上体を起こせず、頭だけ上げて息つぎ。

つぶせの状態となり、呼吸を確保するのが困難になることが分かりました。その対処方法として、ライフジャケットを装備するだけで、とりあえずの呼吸は保てることも分かりました。

着水時に最優先して考えなければならないのは、呼吸の確保でしょう。浮いていることが可能で呼吸ができれば、次の対処も考えられます。突然呼吸ができなくなったら人間はどうなるか……分かりきったことですが、ひとたび水を飲み込めば、パニック状態に陥ることは間違いありません。水深30cmあれば溺れ死ぬこともあるのですから。

次に体をハーネスから外すこと。ハーネスを装着した状態だと、水の中では思うように身動きがとれません。大型のプロテクターを装備しているハーネスでは、水面から顔を上げることすら困難な状態になってしまいます。「着水するかもしれない」と思った時点でバックル類を外した方が、素早くハーネスから離れることができるでしょう。また、バックルを外さずに着水してしまった場合は、先にショルダーベルトから外すと、その後の行動がしやすいことが実験で分かりました。

ハーネスを脱ぐ際には、ライン類にも注意しなければなりません。もし体にラインが絡んでしまえば、泳ぐこともできなくなります。「泳ぎには自信があるから」という人ほど注意してください。

実験に携わった幸路尚文さんは水泳の選手でした。その幸路さんが「危なかった」と言っているほどです。水を含んだ衣類は重くなり、驚くほど動きにくくなることも考えておきましょう。

ハンググライダーの場合は、まず機体と連結されているカラビナを外すことが重要です。水深の深いところでも落ち着いて、ベースバーに足をかけるなどしてカラビナを外すか、ハーネスから抜け出して、機体の下から出ましょう……と文章にすると簡単にできそうですが、実際はかなり難しい場合の方が多いでしょう。

■流されたら致命的

もし降りたところが水深の浅い河川の中や波打ち際だとしても、機体の着水は避けましょう。機体の一部が水面につこうものなら、水の抵抗を受けて流されてしまう可能性があります。川を歩いて渡ったり浜遊びをしたことのある人なら、水流や潮流の怖さを知っているでしょう。浅いところでも足を持っていかれそうになる、あのパワーで機体ごと引きずられたら、ひとたまりもありません。

パラグライダーの場合、降りた地点が陸地であっても、油断してはいけません。機体が着水してしまえば、人間も水中に引きずり込まれることもあるのですから。

プールでの実験だけでも危険を伴うわけですから、実際の河川や海、湖沼だったら危険度ははかりしれません。波や流れに飲み込まれたら……誰だって想像もしたくないでしょう。

水自体のパワーもさることながら、水温のことも忘れてはいけません。長時間、冷たい水の中にいれば、体力を奪われ、思考能力は鈍り、動くことすらできなくなるでしょう。

川にはまりキャノピーごと流されたジャンパーが死亡するという事故例のあるスカイダイビングは、講習でB級を修得する時点で、着水からの脱出を義務づけされています。実際に装備一式のまま着水させ、脱出することを経験させています。こうした実際の経験を持つことは、いざという時に大いに役立つでしょう。

■誰にでも起こりうること

着水はあなたが想像しているほど容易なものではなく、また決して「無縁のこと」ではありません。すべての事故に言えることですが、「自分には関係ない」と思う、その時点で、事故に遭う確率は飛躍的に上がります。

自然の中で楽しむスカイスポーツは、自然の力を思い知ることでもあります。これからの季節はツアー等で水辺で飛ぶ機会もあるでしょう。「自分だけはそんなことはない」という考えは捨て、ライフジャケットを装備して飛ぶくらいの気持ちがあれば、着水事故は防げるのではないでしょうか。

着水実験をビデオで見よう！

本文中で紹介している着水実験をおさめたビデオ「パラグライダー／飛行中着水したらどうなるか」を頒布しています。VHS20分。2,000円（送料別）。各種ハーネスや様々な場面を想定した実験の様子をじっくり見てください。ご注文はJHF事務局まで。

足にラインがからみつき、自力ではずすことができなかった。

〈着水しそうになったら〉

- ○ ハーネスのバックル類を外しておく。（パラ）
- ○ ハーネスのファスナーをあけておく。（ハング）
- ○ 着水前に大きく息を吸っておく。
- ○ 降りるときはフレアーをしっかりかける。

〈着水してしまったら〉

- ○ 呼吸の確保をする。
- ○ 焦らずに落ち着いてハーネス・カラビナを外す。
- ○ 自力で移動できるなら機体を捨てて陸地を目指す。

〈着水した仲間を助ける場合は〉

- ○ 二次災害の恐れも十分に考えて行動を。
- ○ライン類に絡まれないよう注意を。
- ○「溺れる者は藁をもつかむ」ことを忘れずに。

＊これらのことは、あくまでもヒントです。
状況によって様々な危険があり、「こうしたら絶対に助かる」ということは言えません。
やはり一番大切なのは、着水に陥る前に回避するだけの技術、判断力を持つことです。

県連だより

広島市・福山市周辺を中心に約５００名のフライヤーが所属。

広島県ハンググライディング連盟
児島　彰

広くなった荒谷山のテイクオフポイントを見下ろす。

■広島県連の概要

広島県は、瀬戸内海の温暖で穏やかな気候のなかにあり、西部の広島市周辺と、東部の福山市周辺を中心に、約500名のフライヤーが県連に所属しています。広島県連は、JHFの社団法人化に先駆けて、1993年に発足しました。従来から、広島県の各エリアは、商業的スクール主導ではなく、非営利のクラブの集合体によって運営されています。（もちろんスクールもあります。）

■広島県連の活動

日頃は各エリアで独立して活動しており、広島県連として、まとまって活動することは、あまり行っていませんが、年に一度は、日本選手権の県代表を選出する県予選会を行っています。

今年もパラグライディング日本選手権の広島県予選会が、４月中旬に行われましたが、天候に恵まれず、ミニマムクリアができなかったため、競技不成立で、６月以降に延期されました。予選会では、今後の競技で主流になると思われるＧＰＳ判定を採用しています。ＰＧ予選会は、現在、延期中ですので、県内のフライヤーで参加希望の方がいらっしゃれば、ご連絡ください。

■広島県のエリア紹介

●広島県西部の広島市

神の倉山・荒谷山エリア（HG PG）

・神の倉山　南西～北向き　高低差370m
・荒谷山　　東～南西向き　高低差400m

年会費15000円。入会金10000円。
ビジターフィー１日目2000円、
２日目以降1000円。

県内では、もっとも多くのフライヤーが飛んでいるエリアで、全国的にもXCフライトなどで有名です。２つの山が谷をはさんで向かい合ってあり、風向きに応じてテイクオフポイントを選べるので、フライト確率が非常に高くなっています。エリアでは、ハンググライダーとパラグライダーが、仲良く共存して飛んでいます。1999年には、ハンググライディング日本選手権を開催しました。

毎年秋に開催する恒例の「平和カップ」は、ハング・パラ同時開催の大会で、全国から多数のフライヤーに参加してもらっています。（昨年の大会参加者は170名！）

●広島県東部の福山市

芦田川エリア（HG PG）

・北西～北東向き 高低差250m

広い芦田川の河原がランディング場です。年会費1000円。ビジターフィー500円。

蛇円山エリア（PG）

・南向き 高低差400m

ランディングが田んぼなので、フライト可能な期間は田んぼの空いている10月～５月です。

県東部の福山市周辺のフライヤーは、芦田川エリア、蛇円山エリアと、岡山の笠岡エリア（南西～南東）、井原エリア（南～西）を、風向きなどその日の気象条件に応じて移動して飛んでいます。これらのエリアは比較的近く、車で１時間以内に移動可能です。

●県南中央部の尾道市

鳴滝山エリア（PG）

・東～南向き　高低差350m

テイクオフから瀬戸内海を一望できます。テイクオフからメインランディング場までのL／Dは５と、少々遠いですが、サブランディング場もあります。ただし、ランディング場は丘になっているので、降りるには少しばかり技術が必要です。
年会費1000円。

神の倉山でフライト準備。

●広島県北部

毛無山エリア（高野）（PG）

・南東～南西向き 高低差250m

テイクオフポイントへは、約30分歩く必要があります。現在は、比較的小人数で飛んでいます。

龍頭山エリア（豊平）（PG）

・西向き 高低差500m

毎年、秋の「豊平どんぐり村 そば祭」のときには、広島市内のフライヤーも飛びに行きます。

■近況

今年の３月11日～13日には、ハンググライディング学生選手権大会が、神の倉・荒谷山エリアで開催されました。また、広島県では初めてのパラグライディングジャパンリーグ対象大会「広島スプリングカップ2002」が、４月28日、29日に神の倉・荒谷山エリアで開催されました。幸いなことに、いずれの大会も競技は成立いたしました。また、これらの大会に先駆けて、３月上旬に荒谷山のテイクオフを大幅に拡張しました。南斜面の木を大幅に伐採し、絨毯を貼り増しして、テイクオフポイントは、従来の広さの約2.5倍になり、南風で数機の機体が同時に出ることができるようになりました。

■広島県連への問い合わせは下記まで

TEL.082-231-2023（高見自動車工業内）
FAX.082-291-7888

Jリーグ大会「広島スプリングカップ」より。

県連ニュース

■青森県ハンググライディング連盟
［HG・PG青森県選手権を開催します］

2002年度「HG・PG青森県選手権」を以下のとおり開催します。ぜひご参加ください。
開催期日：９月21日～23日
（フリーオープンシステム）
開催場所：青森県岩木山
募集人員：HG・PG共30名（先着順）
参加資格：P証
参加費用：無料（ビジター＼1,000）
賞典：総合１～６位賞品・特別賞・女子の部
賞金：岩木山記録更新者にその都度１万円
必需品：カメラ（デジカメ可）・技能証・フライヤー登録証
○フリーオープンシステムとは……
一般的競技会システムではなく、自己責任で好きな時に飛びます。３日間のうちの最も良い成績を採用し、順位を決めます。ゲートオープン・クローズやスタート順規制も基本的にありません。エリアルールにしたがってハンググライダーとパラグライダーがフリーフライトする事になります。成績決定はフリーディスタンスパイロンの距離記録となります。
○歴代の岩木山の記録（距離・時間）更新者にはその都度賞金が出ます。
○参加料は無料ですが、３日間特別ビジター料＼1,000と有料道路通行料が必要です。
○賞品は林檎と岩木山麓特産品をタップリ準備してお待ちしています。趣味と実益を兼ねた楽しいイベントを目指しています。詳細は下記をご覧ください。
http//www.rnac.ne.jp/~birdman/
［記：古川　正司］

■宮城県ハンググライディング連盟
［PG無料体験会を行いました］

去る４月21日、当連盟主管で第６回パラグライダー無料体験会を行いました。
今年は会場を仙台市内の広瀬川河川敷とし、気軽に参加いただけるようにしました。開催日を例年の９月から、今回４月としたのですが、年度替りしてすぐの日程ということもあり広報不足のせいか、参加者は42名と、例年に比べかなり少ないものでした。
当日の天候は、広瀬川に沿って強めの風が吹き、軽い女性の体験者などは飛んでいってしまわないよう常に足やハーネスをつかんでいる必要があるほどでしたが、参加者と同数くらいの精鋭スタッフが揃ったおかげでケガ人を出すことなく、無事体験会を終了することができました。
［記：今井　政秀］

■埼玉県ハング・パラグライディング連盟
［県連主催大会は大成功でした］

３・４月号のこのページでお知らせした、県連主催のパラグライディング大会を予定どおり行いました。
大会名：2002 Saitama cup in 長瀞
開催日：2002年４月20日・21日
開催地：埼玉県長瀞町長瀞エリア

１位	立澤　一男	埼玉県	2922点
２位	川島迫太郎	静岡県	2864点
３位	清水　尚之	静岡県	2721点
４位	清水　利晃	東京都	2696点
５位	川島美枝子	静岡県	2656点
６位	海老原裕之	神奈川県	2638点

準備に関ってきた、理事・エリア側の皆さん、選手として参加してくれた皆さん、応援・遊びに来てくれた皆さん、本当にありがとうございました。長瀞エリアのいいところがでた大会になりました。
詳細は県連ホームページに載せました。
http://www.saitama-hpf.com
［記：渡辺　竜幸］

喜びのトップ３。楽しい大会になりました。

■千葉県ハング・パラグライディング連盟
［総会で新役員が決まりました］

千葉県連では5月18日、定期総会を開催し、新年度の役員改選等を審議。いずれも原案通り議決されました。
1. 2001年度収支決算並びに事業報告の件
2. 2002年度予算案および事業計画案の件
3. 2002年度役員選任の件

新役員は、次の通り決定しました。

理事長	山田　修平
副理事長	小林　　司
副理事長	伊藤　敏行
事務局長	林田　将子
理　事	佐古　道博
理　事	朝倉　昭治
理　事	古賀　光晴
理　事	栗田　賀尉
監　事	佐藤　恵三
監　事	都留起世志

尚、千葉県連創立以来９年間の長期にわたり理事長として千葉県におけるハング・パラグライディングの健全な発展と普及に貢献された、前理事長の萩原光殿に対して新理事長から感謝状と記念品が贈呈されました。
4. その他
出席した会員から、JHF助成金、JHFの活動状況に対して質問および要望等がありました。今後、本連盟がフライヤーの疑問、質問、要望等を精査して、JHFの正会員として発言していくことにつき討議しました。
［記：山口　修平］

■高知県ハング・パラグライディング連盟
［土佐市パラグライダー大会のご案内］

例年８月の最終日曜日に開催している、土佐市パラグライダー大会を、今年も下記のとおり開催します。24日（土）には、仁淀川河川敷で前夜祭もあります。ぜひ、おいでください。
開催日：８月25日（日）
開催地：土佐市「高岡エリア」
参加費：3,000円（予定）
高岡エリアは標高差420mで、安定した海風の入ってくるエリアです。大会以外でもビジター歓迎。ビジター料無料。
お問い合わせは、県連理事長兼事務局の毛利謙作まで。
TEL＆FAX 088-871-5502
E-mail kensaku.mouri@nifty.ne.jp
［記：毛利　謙作］

■福岡県ハング・パラグライディング連盟
［草野町でPG大会が開催されました］

先日、福岡県久留米市草野町で第１回グライダー山 in 草野町杯 '02が行われ、九州各県を代表するような選手50余名が参加しました。大会準備中、天候が悪い方へと向かい当日の朝まで心配しましたが、何とかスタッフの祈りが通じ回復の方向に。
セットタイム＆ターゲットのタスクでゲートオープンしましたが、最初の頃は渋い条件でほとんどぶっ飛びに近い飛びでした。しかし、中程から次々とトップアウトする選手が出始め、４回もリフライトする選手やセットタイム無視で飛び回る選手、入賞を目指しスパイラルで降りて来る選手も出てきて、大会も地元の見学に来た方達も大いに盛り上がり大盛況となりました。
記念すべき第１回優勝者は、地元、フライング耳納の元山工選手。２位は空豆の高橋律子選手。３位は72歳の現役パイロット長龍一郎選手。沢山の商品を得て選手全員が満足して大会の幕を閉じました。
遠くから参加してくださった選手の皆さん、また色々な形で応援をしてくださった地元住民の皆さんと大いに交流を深められた価値のある大会でした。［記：鈴山　俊二］

●事務局の変更があった都道府県連盟
□岩手県ハング・パラグライディング連盟
□千葉県ハング・パラグライディング連盟
□富山県フライヤー連盟
□福井県フライヤー連盟
□徳島県ハンググライディング連盟
□愛媛県ハンググライディング連盟
□宮崎県ハング・パラグライディング連盟
□沖縄県ハング・パラグライディング連盟
●FAXの変更があった都道府県連盟
□秋田県ハング・パラグライディング連盟
●Eメールの変更があった都道府県連盟
□群馬県ハング・パラグライディング連盟
□福井県フライヤー連盟
□広島県ハンググライディング連盟
●変更後の事務局住所などはＪＨＦホームページでご確認ください。ご覧になれない方はＪＨＦ事務局にお問い合わせください。

委員会の動き

パラグライディング競技委員会

委 員 長:曽我部 真人
副委員長:長島 信一
委　　員: 扇澤 郁、松原 彪、伊澤 光

近年の日本人選手の世界での活躍は、愛好者の裾野を広げる一つのきっかけに成り得ると考えます。そのきっかけを、競技の面から着実に振興の成果へと結びつけるため、頑張っていきます。公認大会をはじめ国際大会まで、今年度より世界を基準としたＧＰＳレースの展開を基に、フライヤーの健全な参加意欲を掘り起こすような競技環境の充実を、一歩一歩進めていきたいと思います。　［記:伊澤 光］

左から曽我部、扇澤、伊澤、長島。

ハンググライディング競技委員会

委 員 長:日下部 はく
副委員長:峰岸 正弘
委　　員:鈴木 博司、高橋 元樹、外村 仁克

この７月、アメリカのシェランで、クラス１女子・クラス２・クラス５の世界選手権が開催され、クラス１女子に２名、クラス５（リジットウイング）に４名が出場する予定。また、来年のクラス１世界選手権を控え、日本選手が世界のトップレベルに追い付くための環境を、委員の経験を活かし、整えていきたいと思います。たくさんのフライヤーが気軽に参加できる「楽しい競技」も重要な課題だと考えます。

世界に追い付く環境作りの一環として、今年からHGシリーズではGPSをバックアップとして使用できるようにしました。判定が早くなり選手に大変好評。現在試行錯誤しながらより良くしていこうと努力しています。これから参加される方は是非GPSでのご参加を。使用できるGPSは各主催者に確認してください。

尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。
ＨＧ競技委員会事務局
E-mail:haku@effect-jp.net
http://tomato.saino.ne.jp/~haku/
JHF-HG.html　　［記:日下部 はく］

左から高橋、日下部、外村、峰岸、鈴木。

教習検定委員会

委 員 長:小野寺 久憲
副委員長:下山 進
委　　員:毛涯 正澄、田中 栄一、
　　谷田 重雄、半谷 貞夫

前期と同じ顔ぶれで課題に取り組みます。

○教員研修検定会実施

様々な事情で開催が延期されていた教員検定会を６月上旬に茨城県で開催。このレポートが皆様に届く頃には、検定合格者が発表されていることでしょう。新しく教員になられる方々は、最新の情報と教育要領を身に付け、間もなく教育実務に就きます。皆様のご声援をお願いいたします。

○学科試験問題の一部訂正

３月に関係者の皆様に配布したパラグライディング技能証学科試験問題の一部に紛らわしい表現の問題がありましたので、訂正しています。飛行ルールの優先順位に関わる問題で、航空法施行規則の記述にならって変更しました。変更部分は関係者の皆様に連絡済みですが、不明な点がありましたらJHF事務局にお問い合わせください。

○今年度のＤＨＶ視察研修について

昨年度、初めての試みとしてＤＨＶへ視察団を派遣した事業は、ＪＨＦとＤＨＶとの協力体制のきっかけを作ることになりました。今年度も、すでにＤＨＶから提案が出されていて、どのような方法で実施するか検討中。10月頃実施の予定ですが、その方法について、皆様のご意見をＪＨＦ事務局にお寄せください。　［記:小野寺 久憲］

左から田中、下山、毛涯、谷田、半谷。

補助動力委員会

委 員 長:山崎 勇光
副委員長:高橋 正造
委　　員:鎌村 実、小松 圏悦、須藤 彰

新委員となってから一回目の委員会を開催し、技能証の運用をテーマにMPG、MHG選手権の会期、ＭＨＧ選手権規程の制定、MHG学科問題の制定、活動スケジュール等について検討しました。

新委員５名、専門委員２名、担当理事１名で新しく出発します。本年度も「フライトルール、フライトモラル」を提唱し、安全で楽しい補助動力を目指し活動していきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

尚、補助動力委員会では、全国何処でも検定が容易に行えるよう、学科問題集を作成しています。検定をお考えの教員の方は事務局へ一報ください。　［記:山崎 勇光］

左から山崎、鎌村、小松、高橋、関谷担当理事、須藤。

制度委員会

委 員 長:小林 秀彰
副委員長:市川 孝

本年度もたった２名のスタートとなった人気のない委員会です。しかしながらこの委員会は「ＪＨＦの縁の下の力持ち」という自負をもって活動していきます。

制度委員会は定員５名なのであと３名の空席があります。全国のフライヤーのために一肌脱ごうという方の応募をお待ちしています。お問い合わせはＪＨＦ事務局まで。

○制度委員会とは？

制度委員会の主な仕事内容は非常に単純です。

1　既存の制度に問題がある場合、現状に合った、より良い制度へ改善する。
2　時代の変化に対応するための新たな制度を作る。
3　現行制度の規程・規約などの整合性を保つ。

単純ではありますが、上記３点を遂行するためにはＪＨＦの誕生の経緯、歴史を十分理解し、現行制度をすべて把握しなければなりません。また、理事会、他の委員会との連携を図り、制度についての問題点を論議していく必要があります。

もうひとつ重用なことは、皆様の制度に関するご意見です。フライヤーの皆様が疑問に感じたことや、改善案などを各都道府県連盟に上げていただきますと、都道府県連盟で審議の上ＪＨＦ総会に議案として提出されます。

皆様の積極的なＪＨＦ運営へのご参加をお待ちしています。　［記:小林 秀彰］

左から市川、小林。

■詳しい情報はホームページで

委員会の動きはＪＨＦの活動そのもの。詳しい情報をご希望の方は、ＪＨＦのホームページをご覧ください。掲載内容やデザインを見直して、この５月にリニューアル。これまでは、どこにどんな情報があるのかわかりにくかったのですが、グッと見やすくなり、こまめな更新を心掛けています。

http://jhf.skysports.or.jp/

ドイツハンググライダー連盟（ＤＨＶ）視察調査報告　最終回　　ＪＨＦ教習検定委員会　委員長　小野寺　久憲

ドイツに学ぶ。

安全性基準といえばＤＨＶの三文字が頭に浮かぶほど、安全について確固たる姿勢を見せるドイツハンググライダー連盟。その教育システムや運営方法を学ぶため、2001年夏、11名の教員がＤＨＶを視察した。

「ドイツに学ぶ」として、DHVの活動状況を紹介してきましたが、今回で最終回となります。

今回は、ハンググライダーとパラグライダースポーツの世界的牽引役を務めるDHVと、国内の代表組織JHFとの違いについてまとめてみました。

■運営方針

DHVの運営・経営方針の根幹は、教育と安全維持確保にあります。特に教育分野での活動は最も重視され、積極的な教育システムの再構築が進行中です。前にも紹介したとおり、DHV主催の20日間に及ぶ研修と厳しい検定試験に合格したパフォーマンスインストラクターにより、20校のＤＨＶパフォーマンスセンターが開校、このセンターを核としてDHVの改革が早いペースで進んでいます。

DHVの活動の一翼をこれらのスクールが担っているのです。機関誌「DHV-info」の表紙の裏面は、全面を使って「DHVパフォーマンスセンター」の広告が載っていて、この新しい教育システムをアッピールしています。

以下は、応対してくれたDHV役員の言葉です。

「DHVの活動目的は、このスポーツの普及と繁栄にある。その目的のために、強い指導力を持ち積極的な改革を進めていく。反論も不平不満も多いが、大部分の方が私たちの活動を支持してくれている。毎年2,000名の会員が退会し、2,000名以上の方々が入会してくる。新規入会者数の確保とともに、この新しく入会してくる方たちに対し満足を与えることができなくなれば、DHVの将来はなくなる。このことが最も重要である。」

■運営状況

DHVの会員数は約31,000人であり、ここ数年大きな変化はない。一方、日本のフライヤー登録数は今年の４月時点で約22,000人で、9,000人ほど少ない。しかし、JHFの場合、Ａ級やＢ級技能証取得の際も会員であることが要件ですが、DHVの場合はスクールの中で管理されていて、練習生クラスの方たちの半数以上は会員登録していないということから、実数の差はもっと拡がり、日本の２倍近い人たちがスカイスポーツを楽しんでいると考えられます。

ドイツの人口は8,100万人とのことですから、単純計算で人口の約0.038％、日本の場合、人口は1億2,700万人で約0.017％の人たちがスカイスポーツを楽しんでいる勘定になります。会員数を人口で除算しただけのものですが、人口比からみるとドイツは日本の約2.2倍のスカイスポーツ人口を持つということになります。

予算規模から比較してみますと、DHVの年間収入は3億4,000万円、会費収入は2億2,000万円で、JHFの場合は年間収入がおよそ1億3,000万円、会費収入は約7,700万円となっています。

DHVでは、これらの資金を基に、職員16名、嘱託職員14名、合計30名の職員で、計画・立案、そして事業の実施を行っています。

JHFの場合も様々な事業を行っていますが、その実施はボランティアを基本に他に仕事を持つ方たちによって構成される各委員会が行っています。正規の仕事の合間にJHFの事業を進めているのですから、正職員によるDHVのそれと比較すれば、その進度は遅いものとならざるを得ず、大きな問題点の一つと言えるでしょう。

■経済活動の一部紹介

DHV経営の中で、会員向けに発行される雑誌「DHV-info」がもたらす利益が大変大きいことに注目するべきでしょう。

会員に無料配布されていることは「JHFレポート」と同様だけれど、海外からの購読申し込みの他、一般書店やスカイスポーツショップでも手に入る点が異なります。その気になりさえすれば、ドイツ国民は誰でもDHVの機関誌を購読することができるわけで、スカイスポーツの広報と普及に大きな貢献を果たしていると言えます。

また、メーカーや販売店、スクールにとって、この「DHV-info」に営業広告を載せることは、無駄の少ない効率的な手段となっています。

更にＤＨＶでは、様々な書籍、ＶＴＲテープ、腕時計、カレンダー、そして帽子やトレーナーといったウェア類も販売して人気を得ています。

また、会員や販売店、スクールの掲載による中古機売買欄も設けられています。たくさんの広告収入に支えられ、カラー100ページの機関誌ができているのでしょう。

国情も考え方や環境も異なるDHVと全てを比較するのは、無意味なことかもしれませんが、国際的にも成功していると認められる組織を見本にし、JHFの将来の運営を考えることは、無駄ではないでしょう。

社会にJHFという組織の存在を広報し、新規入会者の増大と育成、そしてそれを支える教育システムの見直しが必要であり、今その時期にあると思われます。

事故防止、安全対策については、問題が生じた時、直ちに対応できる組織であることが必要でしょう。レッグベルト締め忘れによる墜落事故が頻発したとき、国内においても脱落対策をしていないハーネスの使用禁止を決めようとした動きがありましたが、JHFという社団法人が、営利を目的とする企業を助けることはできないという意見があって、保留されたままになっています。その結果、悲惨な脱落事故に歯止めをかけることができませんでした。

DHVのような強い指導力と大きな信頼を得られる組織作りが急務と感じます。

今年の2月下旬、スイスのローザンヌでFAIとCIVLの国際会議が開催された。その議場で、教育トレーニングシステムの研究を目的としたDHVとJHFの国際レベルの交流と研修が成功のうちに行われたことが紹介された……

ヨーロッパ諸国に学ぶ努力は、これからも続けなければならない。

●ＤＨＶ視察研修について意見を

今年度もＤＨＶ視察研修を行う予定です（10月頃）。すでにDHVから提案が出され、どのように実施するか検討しています。その方法についてのご意見を募集中。ＪＨＦ事務局にファクスまたはメールでお寄せください。

FAX.03-5840-8312

E-mail : jhf@skysports.or.jp

理事会ダイジェスト

◆4月18日理事会

2002年4月18日(木)10時～12時30分　場所:JHF事務局会議室　出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光雄、藤野光一、松永文也、宮川一郎各理事　小堀憲助弁護士　欠席:横尾和彦、宮田富由各理事、宮川雅博監事(出席理事９名。定足数を満たし成立。)
議長:宮川一郎

■審議１:学連の更なる活性化に関する要望について

ハング・パラグライディングの学生リーグ活性化のため、持ち回りの優勝旗等を作ってもらいたいとの要望が日本学生フライヤー連盟からあった。JHFとしては学連の活性化を考えて、学連に対してペナントを付与することとし、採決の結果賛成８、反対０、棄権０で可決した。ただし予算に関しては6月補正で対応する。

■審議２:「訴訟関連:4月25日報告書提出命令申し立て」について

4月25日準備作業が予定されており、原告側から安全性委員会の事故調査の提出を求められている。高山の事故調査は、新しいプロジェクトで再調査中につき、提出日を延期したいということを法廷に報告し、６月中旬をめどに可及的速やかに提出することとし、採決。賛成７、反対０、棄権１で可決した。ただし提出にあたって、事故調査委員会の報告と安全性委員会の従来の報告をどう取り扱うかは次回の理事会で決めることとした。(全員一致)

■審議３:安全性委員会委員の委嘱停止について

■審議４:ＷＥＢサイト上の混乱について(報告及び審議)

審議事項３と、４を併せて審議することとなった。

委嘱停止は重要な問題なので、早急に理事会メンバーと安全性委員会メンバーが話し合いの場を持つことになった。委嘱停止については、その後で判断することになった。

◆5月16日理事会

2002年5月16日(木)13時～17時　場所:JHF事務局会議室

出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光雄、松永文也、宮川一郎各理事　小堀憲助弁護士　欠席:藤野光一、横尾和彦、宮田富由各理事、宮川雅博監事(出席理事8名。定足数を満たし成立。)議長:関谷暢人

■審議5-5:平成14年6月通常総会について

実施案を一部修正(第四号議案として「ＪＨＦ役員選挙規程改定」を追加することなど)の上採決。賛成６、反対０、棄権１で可決した。

■審議5-6:2001年度事業報告(案)について

管理部より概略説明。昨年と同様の様式。ブランク部分の作成を管理部に一任すること、追加・修正を加えることとし、採決。賛成７、反対０、棄権０で可決した。

■審議5-7:2001年度決算報告(案)について

朝日会長が代理で概略説明。見積もり額に対し大きな差があった点など。また、これに対する指摘があり、それを充分に配慮することを条件として採決。賛成７、反対０、棄権０で可決した。

■審議5-8:2002年度補正予算(案)について

会長より概略説明を受け、修正提案が出た。案を修正の上、採決。賛成７、反対０、棄権０で可決した。

■審議5-9:選挙制度見直し(案)について

関谷常任理事が代理で概略説明……制度委員会と選挙管理委員会から選挙制度見直しが答申された。県連の推薦の解釈、立候補の条件、選挙立候補届の後の問題点について明確に表現した。ほぼこの内容で上程案としたい。特に変更点の話し合い、見解等を明記した鑑を添付することを条件に、本答申を6月総会に上程することを採決。賛成５、反対０、棄権２で可決した。

■審議5-3:JHF活性化対策実施案について

会長より概略説明……今年フライヤー登録の移管が完了するので財政的基盤も方向が見えてくる。これを機に活性化対策費として300万円計上し、JHFのあるべき姿を、広く意見を求めて、決めていきたいと思う。質疑応答の後、採決。賛成３、反対２、棄権２で否決した。

これに対し会長より修正案が出され、再び質疑応答。修正案は第１回目会議の評価により、この活性化対策費の300万円の方向付けを決めるという付帯条件で総会に上程することとし採決。賛成４、反対０、棄権３で可決。

■審議5-11:訴訟代理人解任について

副会長より概略説明。提出された訴訟代理人解任通知を採決した上で次のステップを考える事にした。採決の結果、賛成２、反対４、棄権１で否決した。

■審議5-10:訴訟対応について(協議に変更)

2名退席の為、審議から協議に変更する。訴訟担当理事の変更、高山事故調査委員会設立の理由、安全性委員会事故調査報告書の提出、機体の安全管理等、広範に話し合った。

■審議5-2:教習検定委員会への諮問について(協議に変更)

案の方向で進める。

■審議5-3:JHF安全会議(案)について

次回へ持ち越し。

理事活動報告

JHFの理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしている。3月下旬から5月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

●会長　朝日　和博

春のサーマルシーズンが過ぎ、初夏となりました。今年の春の飛びはいかがでしたでしょうか。ゴールデンウィークにはハンググライディング日本選手権を山形県の南陽市で開催させていただきました。開会式に出席すると同時に、ウインドダミーもやらせていただきました。開催地の南陽スカイパークは恵まれた環境であり、上空より見た、100機近いグライダーがテイクオフに整然と並べられていた光景が印象的でした。

2002年度は、JAAからJHFへのフライヤー登録制度移管が終了する年度であります。今年度中にはJHFの10年後のあるべき姿を見出すべく「JHF活性化対策」を実現したいと思っております。６月総会では皆様の活発なる議論をお願い致します。安全に楽しく飛べる為にJHFは努力します。

●常任理事　関谷　暢人

アッというまの２ヶ月間、一日一日が早いサイクルでやってくる。ナンダカンダといいながら自宅と事務局を往復する日々でした。

4月上旬は理事会の各問題を解決する為に理事を召集するも、もどかしく、気がつけば東京から「こまち」に乗って秋田へ向かっていた。打ち合わせが終わり、一時の安堵感を味わったのも束の間、気がついたら高松行きの「ボーイングＶＳ－１１」に搭乗していた。久々のロングディスタンスフライトであった。(フリーで飛びたいヨー!)

４月14日は20年ぶりに「鳥人間コンテスト」の書類審査。無理とわかっているが、図面にこめられた公募者の夢を全てかなえさせてあげたいものだ。４月26日には、JAAと「優良スカイレジャーエリア認定事業」の引継ぎ。これを期にエリア振興活動を活発にさせたい。

5月4日はハンググライディング日本選手権の閉会式出席で南陽市に。懐かしいメンバーに会い過去の出来事が走馬灯のように浮かび、思わず、無理とわかってはいるが、最新機材の費用の捻出方法を考えた。(減価償却とコストパフォーマンスを考えると、『クラスＶ』に心が揺らいだ。)
15・16日と常任理事会・理事会。連日の会議はやはり疲れる。効率の良い理事会運営を考えたいものだ。

ＪＨＦ登録スクール　新規登録＆変更

新　規

■No.103　白馬パラトピア五竜パラグライダースクール(PG)
〒399-9211　長野県北安曇郡白馬村神城22184-10　白馬五竜スキー場内
TEL.0261-75-3210　FAX.0261-72-3837　http://homepage2.nifty.com/paratopia-goryu/

■No.104　猪名川町パラグライダースクール(PG)
〒666-0204　兵庫県川辺郡猪名川町柏原尾ヶ獄1　柏原生産森林組合内
TEL&FAX.079-594-4777　http://www5.nkansai.ne.jp/com/inagawapg/

変　更

■No.004　いわきパラグライダースクール(HG/PG/MPG)
名称変更→湯の岳ウィンドパーク(有)いわきパラグライダースクール

■No.005　KPS富士見高原パラグライダースクール(PG)
住所・TEL・FAX変更→〒399-0211　長野県諏訪郡富士見町富士見3667-4
フォーレス三井A-101　TEL&FAX.0266-66-2278

■No.006　クロスフィールドパラグライダースクール(PG)
住所変更→〒669-5379　兵庫県城崎郡日高町名色189(神鍋高原内)

■No.007　さのう高原パラグライダースクール(PG)
URL変更→http://www.sanou-paraglider.com

■No.008　ハンググライダースクール バーズアイビュー(HG)
URL変更→http://www.birds-eye-view.net

■No.012　オニコウベパラグライダースクール(PG)
URL変更→http://www.hds-net.co.jp/sanmo/

■No.014　トップフィールドパラグライダースクールぐんま(PG)
FAX変更→0278-20-9106　URL変更→http://www8.wind.ne.jp/topfield/

■No.015　忍野スカイスポーツ倶楽部(HG)
URL変更→http://www.oshinoskysports.com

■No.016　白馬ポップ・パラグライダースクール(PG)
住所変更→長野県北安曇郡白馬村神城いいもり

■No.018　スカイスポーツルスツパラグライダースクール(PG)
TEL変更→090-9751-4333　URL変更→http://www9.plala.or.jp/ssr-mori/

■No.024　木島平パラグライダースクール(PG)
FAX変更→0269-82-4350　URL新設→http://www.dia.janis.or.jp/~kijimaps/

■No.025　ソアリングシステムパラグライダースクール(PG/MPG)
住所変更→〒999-2221　山形県南陽市椚塚1970-4

■No.035　ロコスカイスポーツ(PG/MPG)　スクール種別→MHGを追加

■No.036　軽井沢スカイパーク(PG/MPG)
URL変更→http://windybell.com

■No.042　登谷山パラグライダースクール(PG)
TEL変更→090-1556-4235

■No.047　FIELD-KIDS付知パラグライダースクール(PG/MPG)
URL変更→http://www.fieldkids.com

■No.050　JMB白馬パラグライダースクール(PG)
URL変更→http://jmb-h.cside8.com

■No.054　三ノ倉パラグライダースクール(PG)
URL新設→http://www.d9.dion.ne.jp/~k.katz/

■No.058　彩の国こまちパラグライダースクール(PG)
URL変更→http://www.komachipara.com

■No.059　新治こまちパラグライダースクール(PG)
URL変更→http://www.komachipara.com

＊ＪＨＦホームページに登録スクールのリストを掲載しています。
各スクールのホームページを見にいけますので、ご利用ください。

@sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。
いつでも心は空の彼方というあなた、必読!
もちろん寄稿も大歓迎。
「お題はなあに?」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、
JHFへの意見など、どしどし送ってください。
koho@jhf.skysports.or.jp　FAX.03-5840-8312

NEWS

■ホームページ一新！

ＪＨＦのホームページが衣替えしました。これまで、情報が古い、わかりにくい、と会員の皆さんからお叱りを受けながら、なかなか改善できずにいましたが、この５月に大胆リニューアル。格段に見やすくなりました。ぜひご覧ください。ＪＨＦレポートは隔月刊なので、掲載の情報は最新というわけにいきません。ぜひホームページをご覧ください。（インターネットとは無縁という方、ごめんなさい。）

■ＨＧ世界選手権に選手派遣

７月11日から21日まで、アメリカ、ワシントン州のシェラン（Chelan）で、クラス１女子とクラス２、クラス５のハンググライディング世界選手権が開催されます。クラス１はフレキシブル翼のグライダー、クラス２と５は固定翼のグライダー。日本代表として出場するのは、クラス１女子に岡田明子、福田佳代。クラス５に板垣直樹、境卓史、山本剛、松浦芳樹の各選手。クラス１女子の世界選手権が開かれるのは、これが最後。次回からは、クラス１世界選手権で男女一緒に競技して、男女別順位を出すことになる予定です。

■事務局に広報出版部職員

今年度から広報出版局は「事務局内広報出版部」に変わり、火曜・木曜は専門職員の松原正幸が出勤しています。

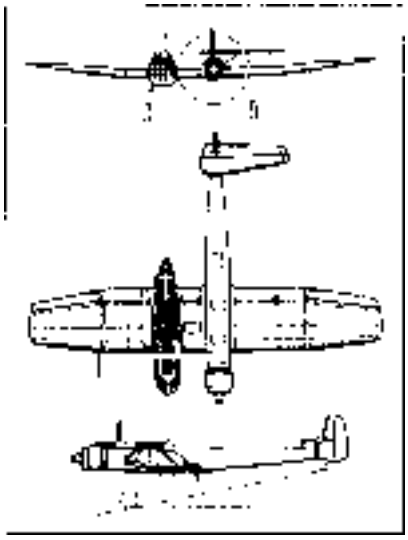
タメにならない航空史-8

奇抜すぎた機体

矢ケ崎弘志

飛行機が空を飛び始めてから約100年、その間に出現したユニークな機体は数多いが、奇怪な姿という点ではドイツのブローム・ウント・フォス(B&V)Bv-141に敵うものはないだろう。なにしろ、図でご覧のように平面形が左右非対称なのだ。これを見た人は、なぜこんな形にしたのだろう、まともに飛べるのかね？と考えたに違いない。

実は、そう思わせることこそがBv-141の開発目的だった。設計者のリヒャルト・フォークト博士(B&V社技師長)が、持論の“飛行機は必ずしも左右対称の形にしなくても飛べる”ことを立証したかっただけなのである。したがって、もし誰も疑問を感じ首をかしげてくれなかったら、フォークト博士は不満だったろう。



こんな姿なのに真直ぐ飛んだ。

Bv-141はこういう動機で作られたのだから、しょせんはフォークト博士のお遊び。いくらなんでもB&V社が、技師長の持論を証明するためだけに開発費を負担するはずはない。表向きには立派な名目がつけられていた。ドイツ航空省が提示した、空軍用偵察機の競争試作に応募したのである。

1937年に出された航空省の要求仕様に“偵察員の視界を最大限に確保すること”とあったのを利用したのだ。乗員を収容するキャビンが機体の右側に独立しているので、たしかに視界は極めて広い。飛行成績もまずまずだったが、やはり異様な外形に対する航空省や空軍首脳の違和感は強く、評価は芳しくなかった。それに、機体の中心線を外れた位置で操縦するのは嬉しくないから、テスト・パイロットだってよい印象をもたなかったと思われる。

それやこれやで、開発の続行は認められたものの、12機が増加試作されたのみである。しかも、自主開発という形を取らされたので、B&V社の出費は大きかったことだろう。すべては、フォークト博士が「どうです！ちゃんと飛ぶでしょう。鳥やトンボは左右対称だから飛行機もそうでなければ、などと思うのは誤った固定観念です」と、大見得を切るためだった。設計した人物はもちろんだが、それを許した会社も桁外れというほかはない。

ただし、ナチス・ドイツは宣伝が巧妙だった。Bv-141の評価は冷静に下しておきながら、対外キャンペーンでは大量生産され第一線で活躍しているかのように見せかけたのだ。文章だけならともかく、当時は世界一のカメラ王国だったドイツが、その技術を駆使して撮影した写真(むろんトリックや合成まじり)が使われていただけに、説得力は大きかった。

ドイツ空軍の塗装をほどこされた虚像が世界中にばら撒かれたばっかりに、Bv-141は形だけでなく、存在そのものが奇妙なものとなってしまった。名ばかりの軍用機であるにもかかわらず、知名度と人気は高いのである。

ところで、フォークト博士は日本との縁が深い。1923年から10年間にわたり川崎航空機(現・川崎重工)で設計技術の指導をしていたのだが、指導ぶりが手厳しい上に極めて口が悪かったらしい。

フォークト博士が、「君はこんな機体が飛ぶと思っているのか」と怒鳴りつけながら育てた技術者たちによって、日本の設計技術は大きく発展した。Bv-141が出現したとき、すでに主任設計者クラスになっていた彼らは、「フォークト博士、もし我々がこんな機体を設計したら、どんな悪口をいわれたのでしょうか？」と問いかけたくなったのではなかろうか。

@sky

カレンダー

場は開催地、連は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

7月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 海の日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■ホームページでもっと詳しく！

JHFのホームページをリニューアルしました。カレンダーのページも情報満載。ハング&パラだけでなく、他のスカイスポーツの催しも見に行けます。

■ハンググライディングヨーロッパ選手権
6月20日～7月6日　場スロベニア、ブレッド

■パラグライディングヨーロッパ選手権
7月6日～20日　場スロベニア、トルミン

■パラグライダー助教員検定会
7月9日　場群馬県渋川市ふれあいセンター
連群馬県ハング・パラグライディング連盟
事務局TEL.&FAX.0278-58-4840
E-mail:ghf@h9.dion.ne.jp

■ハンググライディング世界選手権
クラス1女子・クラス2・クラス5
7月11日～21日　場アメリカ、シェラン
＊クラス1女子とクラス5に日本チームが出場する予定。

■第26回鳥人間コンテスト選手権大会
7月27日・28日　場滋賀県彦根市琵琶湖松原水泳場

■2002年吉野川フライイン
MPG・PPGサマーキャンプ
（徳島県スポーツレクレーション祭参加）
8月3日・4日　場徳島県麻植郡鴨島県民グランド　連MPGクラブ「スカイフリーク」　椋本清治　TEL.090-3181-6317

■NASA STUDENT CUP 2002（HG）
8月7日～9日　場茨城県八郷町足尾エリア
連学連　永光秀明TEL.090-8014-0517

■猪苗代パラグライダーカップ2002
8月10日・11日　場福島県耶麻郡猪苗代町猪苗代スキー場　連大会実行委員会（スポーツパル内）TEL.0242-63-0220
info@sportspal.co.jp

■土佐市パラグライダー大会
8月25日　場高知県土佐市高岡エリア
連大会事務局　TEL.088-871-5502
kensaku.mouri@nifty.ne.jp

お題はなあに？

今回のお題は「ピンチ！傾向と対策」
開傘経験あり、金欠経験あり、
ピンチも人それぞれです。

◇空中撮影初心者

ハングで僕が初めて空の撮影にチャレンジした時のこと。左のポケットに無線を、右のポケットにカメラを入れてテイクオフ。片手のコントロールでふらつきながらも4、5枚撮り、カメラをしまおうとした。…が、うまくポケットに入らない！　ふらふら飛びながら苦戦してるいると今度は無線までポケットから出てしまった。両方の胸から紐が垂れ下がり、無線とカメラがアメリカンクラッカーのようにカチカチ、カチカチと鳴り続いた。リズミカルな音とは裏腹にテンパリながらランディングしていた。

ペンネーム：氏神2001番

◇周りを見られる人はうまくなる

一つのサーマルに固執してしまい、流されているのも大して気に止めなかった。気付けばローター＆吹き抜けで激荒れ！あっという間に高度は落ちて今にも木々にささりそう……。ちょっと気を抜けば即効とられて、や、山沈？　どっか降ろせる所……な、ない!?　泣きそうになりながらも奇跡的に切り抜けた。別の所ではみんな高く上がっている。もっと周りをちゃんと見れてればこんなことにならなかっただろうに。

ペンネーム：田植え機

◇強風ストップくしゃ

あれは風が強めの日。高度には余裕があるものの、急変した強風のためにアクセル全開でも進まない。林を避けて何とか逃げ込んだのはランディング場手前の牧草地。地上付近も大荒れ。ホッとする間もなく、今度はテンションが抜け、頭上にははっきりと青空が見えた……。　えっ!?　その直後地上まで５m程落下。牧草地で柔らかったのが幸いし、地面に膝下まで埋まるも無傷。びびった。しかし、初級機でキャノピーが７分の１まで潰れようとは……。

ペンネーム：就活中の初級機乗り

◇レスキューのおかげ

今から何年か前、当時ホームエリアだった関西エリアの山で飛んでいたときのことです。飛行中に天候が急変し、強風で機体がロックしました。そのまま数分粘ったところで急に風が息をつき、キャノピーが潰れ、そのまま激しいスピンに入り込みました。程なく機体は回復したのですが、ラインがツイストしており、ブレークコードの掴み手は遥か上。コントロールを失ったまま、後退して高圧電線に向かって行きました。地上からの無線で状況を把握しレスキューを開きキャノピーを大急ぎでつぶしてなんとか事無きを得ました。高度があまりなかったのですが、射出式のレスキューは短時間で開き私を救ってくれました。レスキューの開傘性能の重要性を改めて痛感しました。それ以後、ブレークコードは必ず手首を通すように癖付けています。

ペンネーム：ユンカース

◇ぴんち！

次の月曜まで、全財産は３千円だった。でも、今週末は泊まりがけで飛びたい。かかる費用は、友達と割り勘するガソリン代と電車代往復1460円。食費は６食1200円。お風呂は100円。イケる!!　天気も良く楽しい２日間だった。満足した私はサークル車でエリアをあとにしたが、普段よりかなり遅い時間だった。終電に間に合わせるため渋滞の中、駅に急ぐ。……間に合わなかった。さらに携帯の電池まで切れて、ファミレスで朝を迎えるはめになった。

ペンネーム：ハンカチをご用意ください

■次回のお題は「飛んでて、よかったぁ」

初飛び、初ソアリングはもちろん、あなたが衝撃を受けた体験をお送りください。

このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスも忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、図書券をプレゼントします！

Eメール:koho@jhf/skysports/or/jp
FAX/03-5840-8312
「JHFレポートお題はなあに係」まで。

次回の締切は７月15日。文章の主旨を変えずに編集させていただくことがあります。

大会報告

リジットウイング NASA CUP 2002

2002年4月12日～14日
茨城県新治郡八郷町　足尾山エリア
［総合］

1位	板垣　直樹	茨城県	616点
2位	古坂　学俊	茨城県	528点
3位	境　卓史	東京都	465点
4位	松浦　芳樹	群馬県	283点
5位	藤田　直己	東京都	281点
6位	山本　剛	神奈川県	176点
7位	佐藤　信一	新潟県	174点
7位	島　馨	埼玉県	174点
7位	内藤　邦裕	千葉県	174点

★7月13日から20日に開催される世界選手権の選考会を兼ねていたこともあり、FAIカテゴリー２として開催した。参加選手は９名。通常のハンググライダー大会と比べるとかなり少ないが、リジットウイングの競技人口は増えてきているので、徐々にでも参加者が増えていくことを望みたい。大会は初日は雨で競技がキャンセルになったが、２日目、３日目と晴れて競技ができた。２日目、47.5kmのタスクに古坂、板垣選手がゴールし、古坂選手がトップに立った。３日目は69.9kmのタスクにゴールこそできなかったものの、板垣選手が最長距離を飛び逆転優勝を果たし、賞金を手にした。

［記：日下部 はく］

広島スプリングカップ2002

2002年4月28日～29日
広島市安佐北区　神の倉・荒谷山エリア
［総合］

1位	宮田　歩	茨城県	1000点
2位	山下　敏雄	石川県	947点
3位	長島　信一	埼玉県	897点
3位	高杉　慎吾	広島県	897点
5位	鈴村　恵司	愛知県	867点
6位	福田　武史	茨城県	837点
7位	川地　正孝	神奈川県	703点
8位	星　利彦	埼玉県	689点

［女子］

1位	矢崎あかり	石川県	102点
1位	八子　文恵	愛知県	102点
1位	和田　有加	大阪府	102点

★初日は曇天で、渋い条件であった。わずかに日が差した時に、選手らは粘り強いフライトを行い、６名がゴールして成立した。最後の方にスタートした宮田選手がフライト時間最短（56分）で１位であった。２日目は、晴天ながら強風で早々に競技キャンセルを決定した。

JHF競技委員会の指示で、GPS採用が延期になったが、参考データとしてGPSデータの採取、判定練習を行った。（今回の正式データは写真による。）

［記：児島　彰］

2002年ハンググライディング 日本選手権IN南陽

2002年4月28日～5月4日
山形県南陽市南陽スカイパークエリア周辺
★天候及びコンディションに恵まれ、日本選手権者を決めるにふさわしい大会になった。エリアの特色を十分に使い、フライトができたことは大変よかった。特に、平地と山並みを使うコンビネーションは、他のエリアでは少なく、十分一（南陽スカイパーク）独特なものだったと思います。また、期間中、選手は温泉宿に泊り競技できたことも他の大会には類のないことではなかったでしょうか。今大会は、オーガナイズ及び気象コンディションも最高の大会だったと感じています。　［記：佐藤 信博］

＊詳細は２～３ページをご覧ください。

鳴倉カップ

2002年5月11日～12日
新潟県北魚沼郡小出町
★55名のエントリーがありましたが、２日間とも天候に恵まれず競技フライトをすることができませんでした。11日、12日とも、受付後11時まで大会本部前でウェイティングしましたが、天候が悪く競技できるコンディションが期待できないため、キャンセルとしました。　［記：南雲 昌孝］

学連だよ！全員集合！！

はーい、学生のみなさんこんにちは。新入生、はじめまして。学連とは、日本学生フライヤー連盟の略で、全国にいる学生同士のネットワークを広げることが目的の、学生の学生による学生のための団体です。具体的には、大会やイベントの企画運営や各地区間の情報交換を行っています。これから長いお付き合いになるので、よろしくお願いします。日本学連のＨＰに詳しいことが載っているので見に来てくださいね！

さて、今回はまず、年間行事予定。次にGリーグについて。そして、関東HGからのお知らせです。

●年間行事予定

今年度の予定は以下のとおりです。どんどん参加してください！

５月　新歓セミナー［関東HG/PG］
８月　NASA STUDENT CUP（足尾）［関東HG］
　　関西合宿（砂丘 霊石）［関西HG&PG］
　　中国学連夏合宿（大島）［中国］
　　PG学生選手権（鏡山）［九州］
９月　東北学連合宿（十分一山）［東北］
10月　HG＆PG新人戦（十分一山）［東北＆関東HG/PG］
11月　安全講習会　［関東HG/PG］
　　西日本HG学生選手権（華山）［中国］
12月　中国学連冬合宿（神の倉）［中国］
３月　HG学生選手権（竜門）［関西HG］
　　パラフェスタ（足尾）［関東PG］

●Gリーグ（PGリーグ）について

この夏から始動するGリーグの概要が決まりました！

《多くの人が楽しめるお祭りリーグ》をコンセプトに大会順位のみでなく、リーグ参加率、大会中のイベント参加への積極性などを考慮し、団体戦と個人戦の２部門で競うこととします。また、リーグの対象は学連公認大会に限らず、例年多くの学生フライヤーが集まる合宿も対象にしますので、まずは夏休みに行われる、

８月中旬～９月　中国学連夏合宿（大島）
８月20日～23日　鳥取砂丘合宿（鳥取砂丘）
８月27日～30日　学生選手権（鏡山）

よりスタートとなります。

参加資格は、学連に加盟しており、かつ有効な学生証を有する者。暫定的に当日のみの加盟も認めますので、学生であれば誰でも参加可。技能証Ｂ級から。

PG夏のビッグイベントはなんといっても、鏡山で行われる学生選手権！　年に一度の学生チャンピオンを決めるための大会です。真の実力を発揮して、先輩は後輩に力の差を見せつけ、後輩はいつもいばっている先輩をぎゃふんと言わせましょう！　今回は、ジェネスの山下さんに競技委員長をお願いしました。さあ、真のチャンピオンに輝くのは誰だ！

●遊びに来てね！（関東HGより）

今年も夏真っ盛りの８月、茨城県八郷町、足尾山エリアにてHGの夏の祭典、NASA STUDENT CUP 2002が開催されます。

日程：８月６日（火）～９日（金）予定
参加資格：Ｃ級以上
競技方法：1st.Class-アウト＆リターン及びサーキットコース　2nd.Class-デュレーション

この大会も今年で６回目。毎年全国各地より学生が集まり熱い戦いを繰り広げる、夏休みの一大イベントです。また、公認大会で、学生リーグの初戦となります。今年より2nd.クラスも新たに学生リーグを設立し、年間で順位を発表することになり、パイロットだけでなく、Ｃ級生にとっても重要な大会になるでしょう。団体戦も楽しみです。みなさん、参加は必須ですよ！

これから、海、花火大会、NASA STUDENT CUP！と、楽しい夏休みが両手を広げて待ってます。今年の夏は熱くなりそう！

■学連への連絡は……

「学連に加盟したい」や「もっと詳しく学連のことを教えて欲しい」や、その他学連への応援・苦情などは下記まで。

岡崎勢津子（日本大学４年）
Eメール：jsff2001@hotmail.com
学連HP　http://www.geocities.co.jp/Outdoors/2273/

@sky

空のかお
その44

杉山 尚さん
（スギヤマ　ショウ）

足尾山エリアで‘すぎやん’の愛称で親しまれている杉山さんは、法政大学のハング・パラサークルに所属する４年生。ハングフライヤーです。出身は伊豆。近くに丹那エリアがあり、幼い頃からハング・パラが飛ぶのをよく見ていて、いつかやってみたいと思っていました。大学入学と同時にサークルに入り「ハング楽しいよー。ハーネス欲しいよー」というほどハングの虜になってしまいました。足尾で青と赤のラミナールが派手な飛びをしていたら、それが杉山さんです。

４月にパイロット証を取り、今後の目標は「政治改革と完全犯罪。いやいや、丹那エリアで飛んでみたいな」と楽しそうに語ってくれました。彼女募集中だそうです。頑張ってください。

連絡ノート JHF フライヤー

■事務局の夏期休暇のお知らせ

8月13日（火）～15日（木）の3日間、事務局は夏期休暇です。事務手続きに時間がかかる場合がありますので、技能証の申請などは早めにお願いします。

■制度委員を再募集

前号でもお知らせしたとおり、制度委員会の委員は現在２名だけです。正常な委員会活動を行うために、制度委員候補を追加募集しています。委員の仕事を通してハング・パラグライディングを盛り上げていこうとお考えの方、事務局にご連絡ください。

■名前・住所が変わったら必ず連絡を

お名前が変わったり転居された場合は、必ず事務局にご連絡ください。変更のご連絡は、間違いを避けるため、できるだけ電子メールかファクスにてお願いします。

■申請は指定の用紙で！

技能証申請には、指定された青色の用紙を使用してください。また申請書に添付する写真は無帽無背景のカラー写真で。サングラス不可、集合写真やスナップも不可です。ご注意ください。

■JHF事務局

TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312
（電話は月～金曜の9:30～17:30に）
E-mail:jhf@skysports.or.jp

4月・5月のパイロット証取得者
（敬称略　数字は認定日）

パラグライディング

4/2	豊島　和浩	5/1	好井　信博	5/20	山口　清子	5/28	山口　和則	5/30	堂坂　佳延
4/2	矢野　明子	5/2	平田　久司	5/21	高崎　昭	5/28	田嶋　尚之	5/30	越尾　孝
4/2	武田今日平	5/2	三橋　由美	5/21	寺田　恵治	5/28	中村　歩	5/30	宮路　佳伸
4/2	高橋比呂志	5/2	為國　健	5/21	小牧　康人	5/28	山口　朝江	5/31	隅谷加奈子
4/2	川島　清	5/2	石井　昭司	5/21	神原健太郎	5/28	関　聖二	5/31	鈴木　正敏
4/2	田中　優	5/2	永井　靖樹	5/21	新宮　幹男	5/28	田邊　幸夫	5/31	桂　孝之
4/2	円谷咲智子	5/2	Mark　Ryan	5/21	阿久津秋男	5/28	山下　広輔		
4/2	鳥山　剛	5/9	富田　五郎	5/21	沖中　俊憲	5/28	橋口　賀保		
4/2	佐藤　安洋	5/9	星野　隆彦	5/21	湯澤　宏	5/28	清水　久夫		
4/2	水野　正博	5/9	今泉　一史	5/21	中村　禎	5/28	朝熊　宏道		
4/3	福田　隆	5/9	横山　久也	5/23	西村　芳雄	5/30	岩崎　正利		
4/3	佐藤エリザ由佳ホシャ	5/9	徳永　範夫	5/23	作山　久夫	5/30	小澤　時男		
4/3	大西　信裕	5/9	エドアルド　コバヤシ　アマラル	5/23	福川　光	5/30	ヘルマワン　アンドレイ		
4/8	武田　勝敏	5/9	清水　茂	5/23	島添　淑大	5/30	金野ゆきえ		
4/8	藤井　直人	5/9	川上　賢一	5/28	佐藤久美子	5/30	山下　孝志		
4/9	神村　峰伯	5/9	平井　孝一						
4/9	藤本　俊治	5/9	絹村　嘉英						
4/11	稲葉　吉夫	5/10	大津　美緒						
4/11	中里　修	5/10	大津　信亮						
4/12	原田　光康	5/14	川島　純一						
4/16	山田　正夫	5/14	保坂　里美						
4/18	木村　肇	5/14	村田　泰子						
4/18	井口　清	5/14	井上　雅博						
4/18	山本　真宏	5/14	石黒　玲子						
4/18	野坂　照秋	5/14	脇　敬						
4/18	高橋　清	5/14	松本　俊						
4/19	橘　孝一	5/14	中村　光晴						
4/19	酒井理恵子	5/14	矢作　晶子						
4/19	中村　充臣	5/14	矢作　満						
4/23	山本　雄一	5/14	岡野　哲也						
4/23	江畑　憲和	5/16	斉藤　一						
4/23	アディ　クマール	5/17	田中　一三						
4/23	反保　任子	5/17	野村　武						
4/24	桑田　朝子	5/17	小林　優						
4/25	佐藤　良太	5/17	石浦　好一						
4/25	小崎　一貴	5/17	長江　尚彦						
4/25	たかのはし治男	5/20	星野　政明						

ハンググライディング

4/3	杉山　尚
4/19	菅　史彦
4/19	白岡　彩乃
5/21	衣袋　隆一
5/21	髙井　智司
5/28	栗栖　章

JHSC型式登録機

◆輸入ハンググライダー

〈2002年4月17日の新規登録〉
◇I-186　イカロ2000 ラミナール13MR
◇I-187　イカロ2000 ラミナール14MR
〈2002年4月24日の新規登録〉
◇I-188　ウィルスウイング タロン140
◇I-189　ウィルスウイング タロン150
◇I-190　イカロ2000 ラミナール13MRX
◇I-191　イカロ2000 ラミナール14MRX

◆輸入パラグライダー

〈2002年4月24日の新規登録〉
◇PI-847　エリア レベルM（R）

＊最新情報はJHFホームページ、安全性委員会のページでご覧ください。

5月31日までのフライヤー会員登録数

登録年数	3月31日現在の有効登録数	4月の登録数	5月の登録数	5月31日現在の有効登録数
1年		353	577	
3年		233	288	
合計	17,915	586	865	18,498

4月・5月の技能証発行数

ハンググライディング				パラグライディング			
技能証種類	4月の発行数	5月の発行数	5月31日までの発行数累計	技能証種類	4月の発行数	5月の発行数	5月31日までの発行数累計
P証	3(1)	3(0)	4,989	P証	37(6)	73(12)	19,798
C証	9(3)	7(3)	7,033	NP証	31(2)	45(7)	10,603
B証	3(2)	12(2)	11,733	B証	44(12)	93(19)	42,340
A証	6(2)	14(4)	12,160	A証	49(18)	114(37)	46,930
補助動力証	0	0	129	補助動力証	3(0)	3(0)	950
XC証	2(1)	2(0)	1,184	補助動力NP証	0	0	66
タンデム証	0	6(0)	47	補助動力B証			133
				補助動力A証			162
				XC証	12(1)	17(2)	4,079
				タンデム証	14(1)	22(1)	693

＊(　)内の数字は発行数中の女性の人数です。

●編集を終えて

ハング日本選手権が無事終わった。昨年のパラ日本選手権に続き山形県での開催。大会を縁の下で支えてくださった皆さんに大感謝。中堅選手の頑張りが目立ち、若い選手がベテランに食い付いていく姿が印象に残った。　JHF広報出版部

JHFホームページもご覧ください。
http://jhf.skysports.or.jp/

JHFレポート7・8月号（No.172）
発行日　2002年6月20日　定価10円
発　行　（社）日本ハンググライディング連盟
〒112-0003　東京都文京区春日2-24-11
春日Shimaビル8階
TEL.03-5840-8311　FAX.03-5840-8312
E-mail : jhf@skysports.or.jp
編　集　JHF事務局広報出版部
印　刷　日本印刷（株）
この印刷物は再生紙を使用しています。